

2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年12月27日

上場会社名 株式会社ピクルスコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 2925 URL https://www.pickles.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 雅弘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理財務部長 (氏名) 三品 徹 TEL 04-2925-7700
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	34,920	△0.8	2,687	17.1	2,782	16.7	1,915	18.5
2021年2月期第3四半期	35,216	12.1	2,293	45.8	2,384	41.7	1,616	39.9

（注）包括利益 2022年2月期第3四半期 1,912百万円（17.2%） 2021年2月期第3四半期 1,632百万円（43.4%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	149.00	147.38
2021年2月期第3四半期	126.28	125.22

（注）当社は、2021年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	25,892	16,479	63.0
2021年2月期	25,949	14,728	56.4

（参考）自己資本 2022年2月期第3四半期 16,317百万円 2021年2月期 14,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2022年2月期	—	0.00	—		
2022年2月期（予想）				20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

当社は、2021年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年2月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	1.0	2,850	5.1	2,940	3.9	1,900	3.7	147.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2021年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） ー、除外 ー社 （社名） ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	12,859,200株	2021年2月期	12,854,600株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	770株	2021年2月期	586株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	12,855,882株	2021年2月期3Q	12,804,604株

（注）当社は、2021年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、ワクチン接種などの対策の進展はありましたが、厳しい状況が続いております。今後、各種政策により経済社会活動が正常化に向かうことが期待されているものの、景気の持ち直しの動きには弱さが見られ、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、巣ごもり需要が継続したことにより内食需要は底堅く推移しました。一方、外食需要については、営業時間の短縮や酒類提供の制限・禁止の要請などにより需要が低迷しておりましたが、緊急事態宣言が解除されたことで、引き続き一定の対策は必要なものの、明るい兆しも見えてきております。

このような状況のもと、当社グループは、北海道から九州にかけて全国に展開している製造・販売ネットワークを活用し、積極的な営業を行いました。

販売面では、㈱フードレーベルにおいて、牛角韓国直送キムチなどを対象としたキャンペーンを実施しました。当社では、11月1日から、「お家でおいしくご飯！ご飯がススムプレゼントキャンペーン」と題し、ご飯がススムシリーズを対象としたプレゼントキャンペーンを実施しており、賞品には5種の選べるギフトやクオカードなどを用意しております。また、企業ブランドをアピールする新しいCMを制作し、11月19日から全国で順次放送しております。

製品開発面では、当社独自の乳酸菌Pne-12（ピーネ12）とフラクトオリゴ糖の力でBMIが高めの方の体脂肪を減らす機能性表示食品「Pne-12+キムチ」や、ご家庭で誰でも手軽にぬか漬を楽しめるぬか漬の素「発酵の魔法かんたん糠床」などを発売しました。量販店などへの提案の幅を広げるため「ご飯がススム豆腐チゲの素」をリニューアルして発売しております。その他、コラボ商品の開発、既存商品のリニューアル等を実施いたしました。

新規事業については、外食事業及び小売事業を行う「OH!!!～発酵、健康、食の魔法!!!～」(所在地：埼玉県飯能市)は10月で開業1周年を迎えました。これを記念して、10月16日、17日の2日間で1周年創業祭を開催しております。なお、OH!!!では、営業時間短縮等の新型コロナウイルス感染症対策を行い、営業を継続しております。

新型コロナウイルス感染症対策として、出勤前及び出勤時の検温、業務中のマスクの着用、手指消毒、定期的な換気、事務所の休憩室や会議室におけるアクリル板の設置、WEB会議の活用、時差出勤や在宅勤務などを継続して実施しております。また、感染状況を考慮し、当社グループの従業員を対象として、ワクチン接種者に見舞金を支給しております。

売上高は、外出自粛に伴う巣ごもり需要により、家庭内での食事の機会が増加している状況や家飲みによる消費が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除されたことにより、巣ごもり需要が落ち着いたことによる反動減などの影響を受け、減収となりました。

利益については、天候が比較的順調に推移し、原料価格が安定して推移したことや生産アイテムの集約継続による生産の効率化などにより増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は34,920百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業利益は2,687百万円（同17.1%増）、経常利益は2,782百万円（同16.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,915百万円（同18.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて57百万円減少し、25,892百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,298百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が1,100百万円、有形固定資産が283百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて1,808百万円減少し、9,412百万円となりました。これは主に買掛金が466百万円、短期借入金が350百万円及び未払法人税等が317百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて1,751百万円増加し、16,479百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が1,690百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、2021年4月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,437	5,735
受取手形及び売掛金	5,290	4,190
商品及び製品	244	354
仕掛品	72	72
原材料及び貯蔵品	229	284
その他	90	44
流動資産合計	10,365	10,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,515	5,282
機械装置及び運搬具(純額)	1,758	1,701
土地	6,411	6,411
リース資産(純額)	62	57
その他(純額)	164	175
有形固定資産合計	13,912	13,628
無形固定資産		
のれん	502	428
その他	158	172
無形固定資産合計	661	601
投資その他の資産		
投資有価証券	551	491
繰延税金資産	413	412
その他	135	76
投資損失引当金	△89	—
投資その他の資産合計	1,011	981
固定資産合計	15,584	15,211
資産合計	25,949	25,892

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,462	2,996
短期借入金	1,400	1,050
1年内返済予定の長期借入金	1,143	969
リース債務	7	8
未払法人税等	772	455
賞与引当金	187	65
役員賞与引当金	108	—
その他	1,850	1,774
流動負債合計	8,932	7,318
固定負債		
長期借入金	1,355	1,150
リース債務	25	22
繰延税金負債	3	1
退職給付に係る負債	501	544
負ののれん	96	68
その他	305	306
固定負債合計	2,288	2,093
負債合計	11,221	9,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	763	766
資本剰余金	2,134	2,137
利益剰余金	11,643	13,334
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,542	16,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81	79
その他の包括利益累計額合計	81	79
新株予約権	104	162
非支配株主持分	0	0
純資産合計	14,728	16,479
負債純資産合計	25,949	25,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	35,216	34,920
売上原価	25,918	25,104
売上総利益	9,298	9,815
販売費及び一般管理費	7,004	7,128
営業利益	2,293	2,687
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	6
負ののれん償却額	28	28
持分法による投資利益	24	27
受取賃貸料	30	25
事業分量配当金	6	7
その他	21	20
営業外収益合計	115	114
営業外費用		
支払利息	7	5
賃貸費用	16	13
その他	0	—
営業外費用合計	24	19
経常利益	2,384	2,782
特別利益		
固定資産売却益	—	0
補助金収入	13	30
受取保険金	—	60
特別利益合計	13	91
特別損失		
固定資産処分損	49	6
特別損失合計	49	6
税金等調整前四半期純利益	2,348	2,867
法人税等	731	951
四半期純利益	1,616	1,915
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,616	1,915

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	1,616	1,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	△2
その他の包括利益合計	15	△2
四半期包括利益	1,632	1,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,632	1,912
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。